

お天気解説

アキラのズバツと

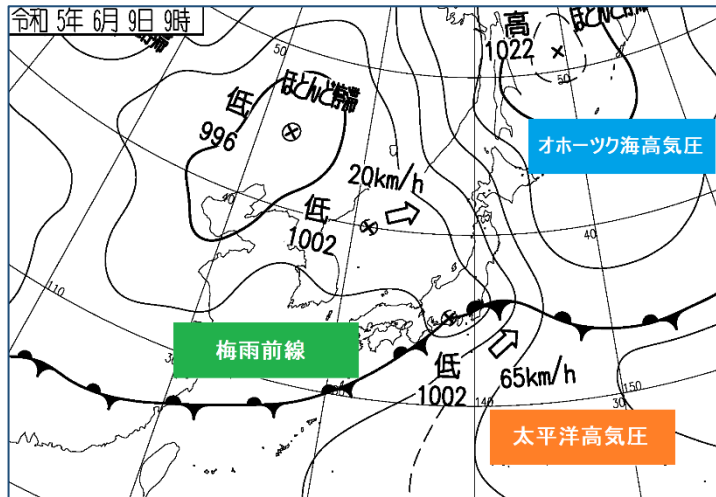
天気予報「はじめの一步」

東日本と西日本とで異なる梅雨の降水量

令和6年6月14日

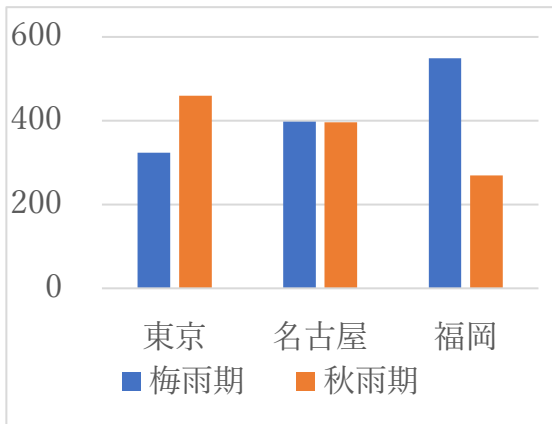
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

梅雨入りが遅れています。これまで最も遅い記録は6月22日（1967・2007年）ですが、今年はまだ発表されていません。梅雨の天気図には雨をもたらす「梅雨前線」が東西に長々と伸びています。前線の北側はすずしい空気、南側は「太平洋高気圧」からの蒸し暑い空気となっています。「オホーツク海高気圧」が北から下りてくると関東地方に冷たい北東の風が吹いて肌寒い天候になります。太平洋高気圧が強まると前線は北に押し上げられるなどして梅雨が明けるのです。



典型的な梅雨型の気圧配置（2023年6月9日）

速報天気図（気象庁発行）を加工



梅雨期（6～7月）と秋雨期（9～10月）の降水量の比較

気象庁の平年データより作成

さて、梅雨の期間にどのくらい雨が降るのでしょうか。江戸川臨海の平年の降水量を調べると、6～7月の合計は279.4mmです。けっこう降りますが、9～10月の合計（401.4mm）と比べるとずっと少ないです。このことは関東地方のどこでも共通し、6～7月よりも台風の影響を受ける9～10月の方が多いです。一方、西日本では9～10月より6～7月の方が多くなります。例えば、福岡では6～7月に548.7mm降り、9～10月の269.6mmよりもずっと多く降るのです。名古屋など東海地方ではほぼ同じ降水量です。

2024年06月14日11時 気象庁 発表				
日付	今日 14日(金)	明日 15日(土)	明後日 16日(日)	
東京地方	晴 	晴後曇 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/~/20/20	0/0/10/20	60	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (°C)	最高	32	30	31 (28~32)
	最低	-	21	20 (19~22)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

週末はまた気温が上昇しそうです。暑さ対策をしてください。

※クリックすると気象庁の新しい情報になります)